

添付資料（４） 森林保全活動 天山山保全１（雑木除伐採活動） H22.11.14

団体名	ボランティアグループ「天山ふれあい会」	記入者氏名	井上元生
開催日	平成２２年１１月１４日 ８：３０～１１：３０	天候	曇
参加者数	３４名	報道等	なし
実施内容	天山山保全１（雑木除伐採活動）	けが・事故等	なし

※実施状況（画像データを添付）

天山共有林管理組合と天山ふれあい会の共同作業で、童男岩下岩下の雑木除伐採作業を行いました。

昨年 7 月 26 日の大雨で谷の 1 つが土石流となって崩れ落ちました。裏の里山は天山区だけでなく宮地岳周辺の行政区の命の水の水源であり、宝満川流域の田畑を守っている山=森林でもあります。

1. 参加者： 34 名

2. 作業日程・内容：

① 8 ； 30 高木神社集合、作業の趣旨・作業内容説明。安全管理説明と準備運動

② 現場到着 9 ； 00、土砂流出・崩落を防ぐために林間に日の光を通して下草が生えるように雑木低木の伐採。作業は 30 分、休憩 10 分で行い、9 時 10 分ごろから 11 時 30 分まで 4 回に区切った作業を、数人ずつのグループを作り、その単位での作業指示を行い、安全確保に努めました。



(1) 作業は、笛の合図とハンドマイクで「作業始め」「作業中止」というスタイルで、安全を確保した。

チェーンや草刈り機を使っていると作業本人には機械音が大きいので、なかなか人の声の「作業始め」「作業中止」だけでは、命令が徹底しない。チェーン 1 台作業者と数人が一組になり、作業場所をはなれて作業しました。





●チェーンソーで切り倒した雑木の枝打ちをして、大雨の時などに流れ落ちないように水平に置いて行きました。こうすることによって、谷間に落ちていかず、土石流の防止になる。



●童男卯女岩付近の草刈り。たいへん伸びた笹竹を刈り取る。紅葉もはじまっていた。



●事故もなく、怪我もなく無事終了。本当にご苦労様でした。

●里山はこうして守られています。

このような活動も認知され、昨年の土石流で流れ落ちた谷の災害復旧工事が県の事業として始まります。また、土砂で埋まった檀徒池も土砂取り除き工事も市の工事としておこなわれることになりました。

